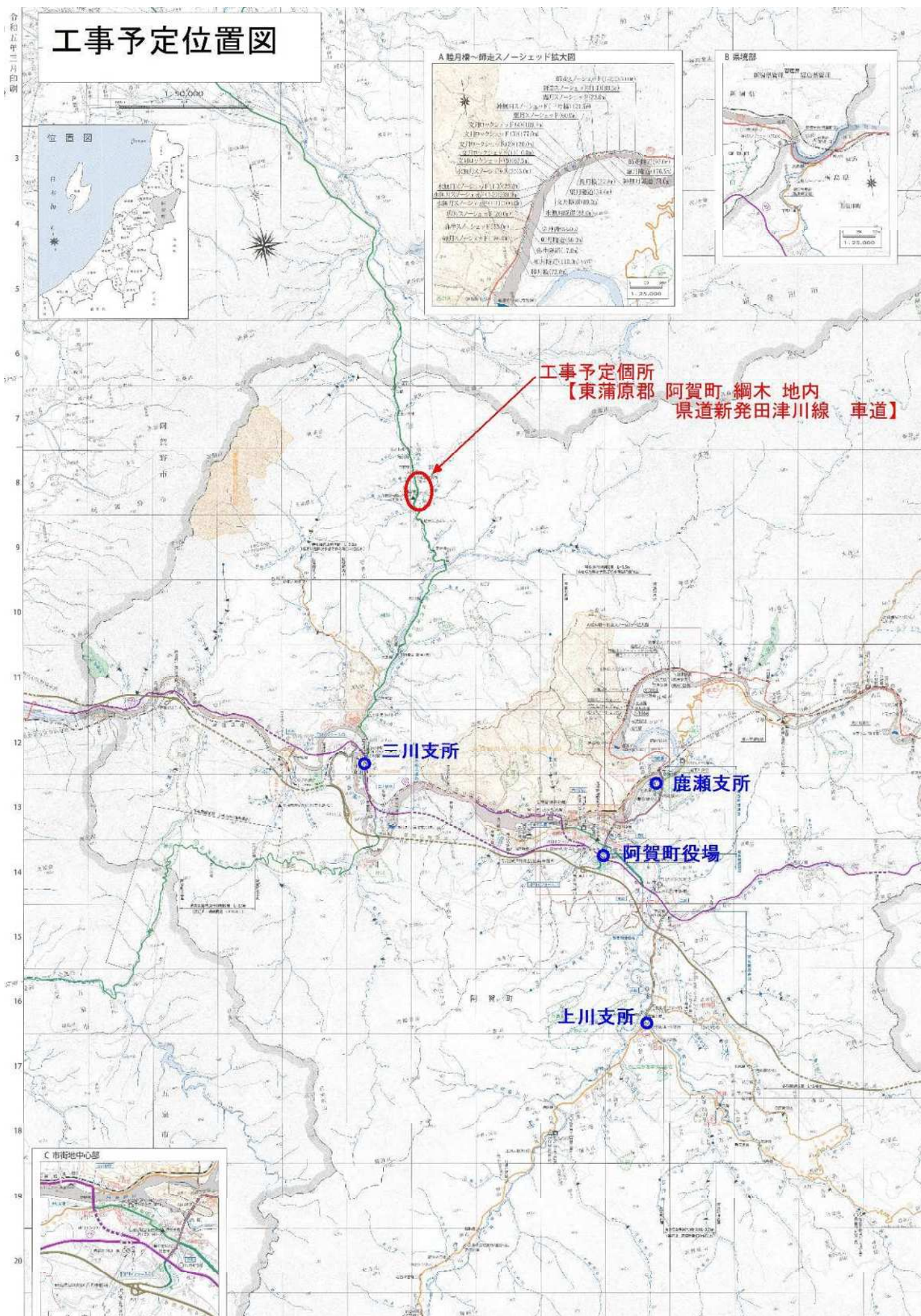


工事設計書

				課長		課長補佐		主任・係長		審査者		検算		設計者	
--	--	--	--	----	--	------	--	-------	--	-----	--	----	--	-----	--

工事名称 綱木水道施設 舗装本復旧第15次工事										工事番号 R7 綱木簡水第2号					
工事費総額 ¥ (内訳) 工事価格 ¥ 消費税 ¥															
発注者名 阿賀町水道事業管理者 阿賀町長 神田 一秋 工 期 日 工事場所 阿賀町 綱木（綱木区）地内 場所名称 阿賀町 綱木（綱木区）地内										工事種類： 新潟県土木部積算基準 工種区分： 舗装工事					
工事概要 当初設計 ◎県道本復旧工 ・表層工 車道 t=5cm（切削オーバーレイ） A=930m2 ・表層工 車道 t=5cm（打換工） A=11m2										変更設計					

工事予定位置図



工事仕様総括

本工事は「新潟県土木工事標準仕様書」及び添付の「特記仕様書等」により施工すること。

本工事に係る工事書類については、新潟県土木部の【工事書類作成マニュアル】に準じて作成すること。

施工条件総括表

下記項目、事項のうち○印欄は工事施工にあたって制約等を受けることになるので明示する。

なお、明示事項に変更が生じた場合、明示されていない制約等が発生した時は、発注者と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明示項目	施工条件
○I 工程関係 次工事	○1. 関連する別途工事あり 綱木水道施設 配水管布設 第14次 工事 2. 施工時期、時間、方法の制限あり ・時 期： ・時 間： ・方 法： 3. 関係機関協議による工程条件あり ・協議内容： ・完了予定時期： 4. その他
II 用地関係 該当する事項無	1. 工事用地等の未処理部分あり ・処理見込時期： ・区 間： 2. 仮設ヤードの指定あり ・場 所： ・期 間： 3. その他
○III 公害対策関係	1. 公害防止の制限あり（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） ・施工方法： ・作業時間： 2. 家屋等の調査の必要性あり ・方 法： ・範 囲： ○3. その他 ・機械の仕様は排出ガス対策型とする。
○IV 安全対策関係	○1. 交通安全施設等の指定あり ・交通誘導員 2人体制 （当初設計では20人を計上しています。） ・その他施設： 2. 近接作業制限あり（鉄道、ガス、水道、電気、電話等） ・内 容： ・工法制限： ・作業時間制限： 3. 発破作業あり ・保安設備及び保安要員： ・防護工： ・作業時間制限： 4. 防護施設（落石、雪崩、土砂崩壊等） ・内 容： 5. その他

明示項目	施工条件
V 工事用道路関係 該当する事項無	1. 一般道路を搬入路としての制限あり ・搬入経路： ・期 間： ・使用後の措置：
	2. 一般道路の占用 ・期 間： ・規制条件： ・時間制限：
	3. 仮設道路設置 ・工法指定の有無： ・用地関係： ・安全施設： ・工事完了後の「存置」または「撤去」
	4. その他
VI 仮設備関係 該当する事項無	1. 仮設備の指定あり
	2. 仮設備の条件指定あり
	3. 仮設備の転用、兼用あり ・工 種： ・内 容：
	4. イメージアップあり ・内 容：
	5. その他
VII 残土・産業廃棄物関係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり
VIII 工事支障 該当する事項無	1. 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） ・内 容： ・移設、撤去、防護方法等： ・時 期：
	2. 占用物件重複施工あり ・内 容：
	3. その他
IX 排水工 （濁水処理含む）	1. 濁水、湧水処理の特別な対策あり ・内 容：
X 薬液注入関係	1. 薬液注入工法あり ・別紙条件明示による
X I その他	1. 現場発生材あり ・品 名： ・納入場所：
	2. 支給品及び貸与品あり ・品 名： ・納入場所：
	3. 品質証明の対象工事
	4. その他 ・施工計画書を提出すること

明示項目	施工条件				
XⅡ 排出ガス対策型建設機械	1. 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、或いはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械、或いは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。 <table><tr><th data-bbox="491 591 1193 629">機 種</th><th data-bbox="1193 591 1447 629">備 考</th></tr><tr><td data-bbox="491 629 1193 1205"> 一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引拔機、油圧式杭圧入引拔機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーササーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン </td><td data-bbox="1193 629 1447 1205"> ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。 </td></tr></table>	機 種	備 考	一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引拔機、油圧式杭圧入引拔機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーササーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。
機 種	備 考				
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引拔機、油圧式杭圧入引拔機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーササーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。				
XⅢ 施工方法等	・施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問解答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法、その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款1条第3項による）				

特記仕様書

第1条 適用範囲

1. 本工事の施工にあたって請負者は、契約書に基づき、設計図書に従って施工するものとする。
また、設計図書のうち仕様書については、本特記仕様書、新潟県土木工事標準仕様書（以下「仕様書」という）を適用するものとする。
2. 本工事の主任技術者または監理技術者は、下表に該当する資格者とする。

資格区分		契約額 30百万円以上、 100百万円未満		100百万円以上	
		主任技術者	監理技術者	主任技術者	監理技術者
国家資格 1級土木施工管理技士 又は 1級建設機械施工技士	監理技術者資格証 あり	○	○	○	○
	監理技術者資格証 なし	○	×	○	×
2級土木施工管理技士（土木） 又は 2級建設機械施工技士	監理技術者資格証 あり（大臣認定）	○	○	○	○
	監理技術者資格証 なし	○	×	×	×
技術士 建設部門 農業部門（農業土木） 林業部門（森林土木）	監理技術者資格証 あり	○	○	○	○
	監理技術者資格証 なし	○	×	○	×
	監理技術者資格証 あり（大臣認定）	○	○	○	○

（○は該当資格 ×は該当しない）

3. 資格証明書の提出

上記に掲げた項目に該当する「主任技術者、監理技術者決定通知書」に資格証明書の写しを添付すること。

4. 活用の基準

上記の基準により主任技術者及び監理技術者を置くことが過重な負担となる時は、監督員にその旨申し出て協議すること。

5. 本工事は概数発注で発注するものである。なお、詳細については監督職員の指示に従うものとする。

6. 段階確認

請負者は「土木工事監督技術基準別表2」にある工種の施工段階においては、段階確認を受けなければならない。この際、請負者は種別、細別、確認時期及び項目の予定を監督職員に書面により報告すること。

7. 工事材料の品質

請負者は「土木工事監督技術基準別表1」にある工事材料については、事前に監督職員の検査（確認を含む）を受けるのとし、その外観及び品質証明書等を照合し、確認した資料を事前に監督職員に提出すること。

8. 施工計画書

請負者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督員に提出しなければならない。

請負者は、施工計画書を遵守し工事の施工に当たらなければならない。

この場合、請負者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。また、監督員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。ただし、受注者は簡易な工事及び緊急を要する工事においては監督員の承諾を得て施工計画書の提出を省略することができる。

また、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、そのつど当該工事に着手する前位に変更に関する事項について、変更施工計画書を提出しなければならない。

第2条 施工

1. 作業土工等の処理

1) 請負者は、工事で発生したアスファルト廃材を五泉市論瀨地先の再資源化施設へ搬出すること。なお、運搬経路は、現場～一般国道49号～主要地方道白根安田線～処理場とする。

2. 施工機械

1) 排出ガス対策型建設機械

本工事においていかに示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間建設技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を設置した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

機種	備考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタシャベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （いかに示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アーアスオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地価連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。

1) 排出ガス対策型建設機械

本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機発第58号）に基づき低騒音型建設機械の使用が原則となる場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。また、低騒音型建設機械を使用する場合、請負者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

第3条 疑義・その他

1. 連絡体制の確立と速やかな連絡の徹底

当該現場で公衆災害が発生した場合に必要な他機関（警察署、消防署、保健所等）を含めた連絡体制表の策定と発生時に現場から監督職員への速やかな連絡を徹底すること。

2. 建設機械等の設置位置の適正化

建設機械等を設置する場合、その設置位置については周囲の状況を十分に勘案のうえ、安全かつ適切な場所とするとともに、万が一油漏れ等の事故が発生した場合に備えた対策を事前に講じておくこと。

3. 建設機械等の点検・整備

安全管理責任者を定め、始業・終業点検等を定められたチェックシートにより点検し、不具合な箇所は整備すること。

4. 建設機械の油漏れ等発生時の臨機の措置

1) 当該現場での処置

油漏れ等が発生しても拡散しないような敷シート等による措置を徹底すること。

2) マット等対策資材の整備

油漏れ等が発生した場合に備えて、当該現場におけるマット等対策資材を整備すること。

3) 他機関との連携

警察署、消防署、保健所等との日頃からの連携を密にしておくこと。

5. 請負者は、上記以外の事項及び疑義が生じた場合、その都度監督職員と協議すること。

建設副産物特記仕様書

1. 再生材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規 格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備 考
無し				

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備 考
無し				

3. 建設発生土の処理（再利用）

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名/施設名称	無し			
工事場所/施設所在地	無し			
連絡先				
受入時間				
受入費用				
仮置場所の有無				
備考				

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	Co廃材	AS廃材		
処理施設名称	無し	(有) 齋藤砂利		
施設所在地		泉市大蔵字廣瀬島1715		
連絡先		0250-47-2339		
受入時間				
受入費用				
備考		1,500円/t		

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化が完了した時は、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処理する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。

別紙 2

「週休 2 日適用工事(現場閉所)」(令和 7 年 4 月)特記仕様書

本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して月単位の週休 2 日(現場閉所)に取り組む旨を協議した上で工事を実施する「週休 2 日適用工事(現場閉所)」受注者希望方式の対象案件である。なお、通期の週休 2 日(現場閉所)について、受注者は協議にかかわらず取り組むものとする。

通期の 4 週 8 休以上(現場閉所率 28.5% (8 日/28 日)以上の水準に達する状態)を前提に、補正対象経費に通期の週休 2 日補正係数を乗じて予定価格を作成している。

受注者は、「「週休 2 日適用工事(現場閉所)」(令和 6 年 10 月)実施要領」に基づき、月単位の週休 2 日(現場閉所)の取組の希望の有無を工事着手前に、監督員と打合せ簿により協議するものとする。

現場閉所の達成状況より、月単位を希望して月単位の 4 週 8 休以上を達成した場合は、月単位の週休 2 日補正係数に設計変更する。月単位を希望して月単位の 4 週 8 休に満たない場合、月単位を希望せずに月単位の 4 週 8 休以上を達成した場合は、通期の週休 2 日補正係数のままとする。通期の 4 週 8 休に満たない場合は、補正分を減額変更するものとする。

(参考)

県要領の電子データは、新潟県ホームページから入手できるので参考とすること。

(<https://www.pref.niigata.lg.jp/gijutsu/1356857978573.html>)

参 考 資 料

この「参考資料」は、入札参加者の適性かつ迅速な見積に資するための資料であり、建設工事請負基準約款第1条にいう設計図書ではない。

従って「参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意）、“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	TXxxxxxxxx	ITxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001～T9999099 ※		Pxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx ※	TFJxxxxxxxx ※	TYxxxxxxxx ※		
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合があります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。※

積算基準 [1 県版]	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準 [2 調査関係]	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準 [3 港湾]	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準 [4 下水道]	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準 [1 一般土木] 全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準 [4 公園緑地]	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準 [6 機械・電気通信]	SWExxxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準 [5 建設機械損料表]	MMxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900 ※	S0901 ※	SE918 ※	
名称、労務数量等を設定	SA901 ※	SA902 ※	SA910 ※	SC900 ※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合があります。

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機 ○○」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合もあります。
SDHTxxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を増減する場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 柵等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。
同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

- ①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。
- ②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。
- ③代表機材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。
- ④パッケージコード※において積算地区の代表機材規格を減額処理した単価コード。
- ⑤パッケージコード※において積算地区の代表機材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。
※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機材規格の項目（例：Z1t）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*減額処理*」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*単価置換*」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。
「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。
詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計、予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0006

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊					
本復旧工		式			
県道本復旧工		式			
車道部復旧工(オーバーレイ)		式			
車道部復旧(配水管φ150mm)		一式			
切削オーバーレイ		m2		130	
AS搬運搬(現場～処分場)		m3		7	
AS処分費(t)		t		15	
区画線設置		m		44	
区画線設置		m		22	
車道部復旧工(オーバーレイ)		式			
車道部復旧(配水管φ100mm)		一式			
切削オーバーレイ		m2		800	
AS搬運搬(現場～処分場)		m3		40	
AS処分費(t)		t		94	
区画線設置		m		225	
区画線設置		m		113	
車道部復旧工(打換)		式			

07-実施一般-5555-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

頁0-0007

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
車道部復旧 (給水管 φ20mm)		一式			
舗装版切断		m		18	
舗装版破碎積込 (小規模土工)		m2		11	
不陸整正		m2		11	
表層 (車道・路肩部)		m2		11	
AS敷運搬 (現場～仮置き場)		m3		1	
AS積込 (仮置き場)		m3		1	
AS敷運搬 (仮置き場～処分場)		m3		1	
AS処分費 (t)		t		1	
仮設工		式			
交通管理工		式			
交通誘導警備員		一式			
交通誘導警備員B		人口		20	
直接工事費					
運搬費		式			
貨物自動車による運搬 (1車1回)		台		2	
共通仮設費 (率分)					
共通仮設費計					

＊ ＊本工事費＊ ＊ **工事数量総括表**

頁0-0038

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など		規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
純工事費						
現場管理費 (率分)						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

総括情報表

頁0-0009

設計書名 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日/適用基準日 諸経費体系	実施設計書 1 実施単価 25 津川① 0-07.09.20(0) 1 一般土木	
	当 世 代	前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休2日補正の有無 ICT3D出来形・納品補正 小型車補正	07 舗装工事 05 一般交通影響有(2)-1 00 なし 40 40% 01 金銭的保証 04 10% 21 0%:補正なし 14 通期(現場閉所)R6.10 00 なし(R02.10.20~) 00 小型車補正なし	

07-実施一般-5555-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0010

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊									X1000	
本復旧工									Y1000000017	
県道本復旧工				式					Y2000000171	
車道部復旧工(オーバーレイ)				式					Y3000001088	
0 省略				式						
車道部復旧(配水管φ150mm)				一式					Y4000004566	
切削オーバーレイ									SWB430210	
0 省略	130			m2					施工 第0-0001号内訳表	
AS敷運搬(現場～処分場) 五泉市大蔵									SCB227010	
0 省略	7			m3					施工 第0-0002号内訳表	
AS処分費(t) (有)斎藤砂利									SWB020052	
0 省略	15			t					施工 第0-0003号内訳表	
区画線設置									SWB821210	
0 省略	44			m					施工 第0-0004号内訳表	

07-実施一般-5555-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0011

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
区画線設置									SWB821210	
0 省略	22		n						施工 第0-0005号内訳表	
車道部復旧工(オーバーレイ)									Y3000001089	
0 省略			式							
車道部復旧(配水管 φ100mm)									Y4000020939	
			一式							
切削オーバーレイ									SWB430210	
0 省略	800		m2						施工 第C-0001号内訳表	
AS搬運搬(現場～処分場)									SCB227010	
玉泉市大蔵										
0 省略	40		m3						施工 第0-0002号内訳表	
AS処分費(t)									SWB020052	
(有)斎藤砂利										
0 省略	94		t						施工 第0-0003号内訳表	
区画線設置									SWB821210	
0 省略	225		m						施工 第0-0004号内訳表	
区画線設置									SWB821210	
0 省略	113		m						施工 第0-0005号内訳表	
車道部復旧工(打換)									Y3000001090	
			式							

07-実施一般-5555-当初

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0012

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
車道部復旧(給水管φ20mm)									Y4000020950	
				一式						
舗装版切断									SCB430510	
0 省略	18		m						施工 第0-0006号内訳表	
舗装版破碎積込(小規模土工)									SCB210720	
0 省略	11		m2						施工 第0-0007号内訳表	
不陸整正 補充材なし									SCB410031	
0 省略	11		m2						施工 第0-0008号内訳表	
表層(車道・路肩部)									SCB410260	
0 省略	11		m2						施工 第0-0009号内訳表	
AS搬運機(現場～仮置き場)									SCB227010	
0 省略	1		m3						施工 第0-0010号内訳表	
AS積込(仮置き場)									SCB210020	
0 省略	1		m3						施工 第0-0011号内訳表	
AS搬運機(仮置き場～処分場)									SCB227010	
0 省略	1		m3						施工 第0-0012号内訳表	
AS処分費(t) (有)豪藤砂利									SWB020052	
0 省略	1		t						施工 第0-0003号内訳表	

07-実施一般-5555-当初

** 本工事費 ** 内訳表

頁0-0013

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工							Y2000000172
				式			
交通管理工							Y3000003658
				式			
交通誘導警備員							Y4000026527
				一式			
交通誘導警備員B	0 省略						SWB010212
		20		人日			
直接工事費							施工 第0-0013号内訳表
運搬費							Z0002
				式			
貨物自動車による運搬(1車1回)	0 省略						SWB010010
		2		台			
共通仮設費 (率分)							施工 第0-0014号内訳表
共通仮設費計							

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 内訳表

頁0-0014

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費							
現場管理費 (率分)							
現場管理費計							
工事原価							
工事原価計							
一般管理費等							
契約保証費							
一般管理費等計							
工事価格							

07-実施一般-5555-当初

** 本工事費 ** 内訳表

頁0-0015

費目・工種・施工名称・管理費区分		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税相当額							
工事費							

07-実施一般-5555-当初

SWB430210 施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号内訳表

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分	
上木一般世話役		人			RR0125	1 0 省略
特殊作業員		人			RR0101	1 0 省略
普通作業員		人			RR0102	1 0 省略
⑤密粒度アスコン(新20FH)	12.573	t			TZJ4100004	0 省略
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	43.000	l			TZJ4130003	0 省略
路面切削機運転		日			SWK430050	1 0 省略
路面清掃車運転		日			SWK430060	1 0 省略
アスファルトフィニッシュ運転		日			SWK430070	1 0 省略
ロータリー運転		日			SWK430080	1 0 省略
タイヤラ運転		日			SWK430090	1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)		%			#71	0 省略
計	100	m2				

SWB430210 施工内訳表

施工 第0-0001号内訳表

100

m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
小計	1	m2			
平均切削深さ	=1	7cm以下			
即日舗設の層数	=1	一層			
すりつけの区分	=1	無			
舗装厚(一層目)(実数入力)	[mm]=50	舗装厚(一層目)(実数入力)		[mm]	
アスファルト材料(一層目)	=2	⑤密粒度アスコン(新20FH)			
瀝青材料種類(一層目)	=1	タタコート			

AS敷運搬(現場～処分場)
五泉市大蔵

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB227010 施工内訳表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0018

機械構成比: 44.95% 労務構成比: 38.97% 材料構成比: 16.08% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 7.024

代表機材規格	構成比	単価(津川①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
Klt' ダンプトラック[フロント・ディーゼル] 10t積級(クイ損耗費及び補修費(良好)含む)	44.95%	円/供用日	ダンプトラック[フロント・ディーゼル] 10t積級(クイ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010050 MPM93010050
Rlt' 運転手(一般)	38.97%	円/人	運転手(一般)		RR0115 RR9115
Zlt' 軽油	16.08%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZJ96702002
積算単価			積算単価		EP001
設発生作業 積込工法区分 DID区間の有無	=3 =3 =1	舗装版破碎 機械(騒音対策不要 無し	厚15cm以下)		
運搬距離(km) (DID区間無) 費用の内訳	=7 =1	60.0km以下 全ての費用			
【補正式】 P' = P					
[機械補正] $\times \left[\frac{Klr}{100} \times \frac{Klt'}{Rlt'} \right] \times$	Klr Klt' Rlt'	Kr			
[労務補正] $+ \left[\frac{Rlr}{100} \times \frac{Rlt'}{Zlt'} \right] \times$	Rlr Rlt' Zlt'	Rr			
[材料補正] $+ \left[\frac{Zlr}{100} \times \frac{Zlt'}{Zlt} \right] \times$	Zlr Zlt' Zlt	Zr			
[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$					

AS処分費(t)
(有)斎藤砂利

07年09月20日 適用

頁0-0019

SWB020052 施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号内訳表

100

t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
処分費	100.000	t			TFJA0604343 T 処分費等
計	100	t			
小計	1	t			

区画線設置

07年09月20日適用

頁0-0020

SWB821210 施工内訳表

施工 第0-0004号内訳表

1000

m 当り

名称・規格など	数	量	単位	単価	金額	備考・材料区分・管理費区分
区画線設置(溶融式)昼間 豪雪有実線15cm制約無	1,000.000		m			TQJ1036013 2 0 省略
トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ 15~18 白	570.000		kg			TZJ4350001 1 0 省略
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	25.000		kg			TZJ4352001 1 0 省略
接着用プライマー 区画線用	25.000		kg			TZJ4354001 1 0 省略
軽油	40.000		l			TZJ6702002 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)			%			#71 0 省略
計	1,000		m			
小計	1		m			
夜間作業の有無	=1		無し			
施工方法区分	=1		溶融式手動			
豪雪補正の有無	=2		有り			
規格・仕様区分	=1		実線 15cm			
時間的制約の有無	=1		無し			
塗布厚	=1		1.5mm			
排水性舗装に施工する場合の補正	=1		無し			
未供用区間の場合の補正	=1		無し			
溶融式塗料規格	=1		含有量15~18%			
塗料区分	=1		白			
プライマー規格	=1		アスファルト舗装			
費用の内訳	=1		全ての費用			

SWB821210 施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号内訳表

1000

m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分
区画線設置(熔融式)昼間 豪雪有破線15cm制約無	1,000.000	m			TQJ1036037 2 0 省略
トフィッパベント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	570.000	kg			TZJ4350001 1 0 省略
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	25.000	kg			TZJ4352001 1 0 省略
接着剤プライマー 区画線用	25.000	kg			TZJ4354001 1 0 省略
軽油	44.000	l			TZJ6702002 1 0 省略
諸雑費(率+まるめ)		%			#71 0 省略
計	1,000	m			
小計	1	m			
夜間作業の有無	=1	無し			
施工方法区分	=1	熔融式手動			
豪雪補正の有無	=2	有り			
規格・仕様区分	=5	破線 15cm			
時間的制約の有無	=1	無し			
塗布厚	=1	1.5mm.			
排水性舗装に施工する場合の補正	=1	無し			
未供用区間の場合の補正	=1	無し			
熔融式塗料規格	=1	含有量15~18%			
塗料区分	=1	白			
プライマー規格	=1	アスファルト舗装			
費用の内訳	=1	全ての費用			

SCB430510 施工内訳表

施工 第0-0006号内訳表

機械構成比: 15.12% 労務構成比: 57.13% 材料構成比: 27.45% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1 m 当り 673.26

代表機材規格	構成比	単価(津川①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t' コンクリートカッタ[パキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 プレート径φ56cm	10.49%	円/供月日	コンクリートカッタ[パキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 プレート径φ56cm		MMJ1161013 MM091161013
R1t' 特殊作業員	19.60%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R2t' 土木一般世話役	10.55%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
R3t' 普通作業員	8.73%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
Z1t' コンクリートカッタ(プレート) 径18インチ	23.29%	円/枚	コンクリートカッタ (プレート) 径18インチ		TZJ6540009 TZ096540009
Z2t' ガソリン レギュラー	2.83%	円/L	ガソリン レギュラー		TZJ6704001 TZ096704001
積算単価			積算単価		EP001
舗装版種別 アスファルト舗装版厚 費用の内訳	=1 =1 =1	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用			
【補正式】 $P' = P$					
【機械補正】 $\times \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{K1r}{K1t}$					
【労務補正】 $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r}$					
【材料補正】 $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r}$					

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB430510 施 工 内 訳 表

施工 第0-0006号内訳表

機械構成比：	15.42%	勞務構成比：	57.13%	材料構成比：	27.45%	市場單価構成比：	0.00%	標準單価：	673.26
--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------	-------	-------	--------

[illegible]

07-实施-一般-5555-当初

SCB210720 施工内訳表

施工 第0-0007号内訳表

機械構成比: 20.80% 労務構成比: 71.28% 材料構成比: 7.92% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,690.8 1 m2 当り

代表機材規格	構成比	単価(津川①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t' 小型バックホフ(クロー)【標準】 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3	20.80%	円/供用日	K1t' 小型バックホフ(クロー)【標準】 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3		MMJ0201034 MM090201034
R1t' 運転手(特殊)	71.28%	円/人	R1t' 運転手(特殊)		RR0114 RR9114
Z1t' 軽油	7.92%	円/L	Z1t' 軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価			積算単価		EP001
費用の内訳	=1	全ての費用			
【補正式】 $P' = P$					
$\begin{aligned} & \text{[機械補正]} \quad \frac{K1r}{100} \times \left[\frac{K1t'}{R1t'} - 1 \right] \times K1r \\ & \text{[労務補正]} \quad \frac{R1r}{100} \times \left[\frac{R1t'}{Z1t'} - 1 \right] \times R1r \\ & \text{[材料補正]} \quad \frac{Z1r}{100} \times \left[\frac{Z1t'}{Z1t} - 1 \right] \times Z1r \\ & \text{[全体調整]} \quad \frac{100 - K1r - R1r - Z1r}{100} \times P \end{aligned}$					

不陸整正
補充材なし

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

頁0-0025

SCB410031 施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号内訳表

機械構成比: 5.62% 労務構成比: 72.88% 材料構成比: 21.50% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 784.89

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t' 小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m3(平積0.08m3)	2.91%	円/日	小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m3(平積0.08m3)		TLC1041002 TL091011002
K2t' 振動ロー(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.55%	円/日	振動ロー(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t		TLC1070011 TL091070011
R1t' 普通作業員	30.50%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t' 運転手(特殊)	26.32%	円/人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
R3t' 特殊作業員	13.94%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
Z1t' 路盤材 修正	19.41%	円/式	再生クラッシャーラン RC-40 全仕上り厚 100mm		TY001100001 TZP91220030
Z2t' 軽油	2.03%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価			積算単価		EP001
全仕上り厚(実数入力)(mm) 施工区分 材料 費用の内訳	=0 =1 =9 =1	全仕上り厚(実数入力)(mm) 1層施工 路盤材(各種) 全ての費用			
【補正式】 P' = P					
【機械補正】 $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} \right] \times \frac{K1r}{K1r + K2r} \right\}$					

07-実施一般-5555-当初

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB410031 施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号内訳表

1 m2 当り

機成構成比: 5.62% 勞務構成比: 72.88% 材料構成比: 21.50% 市場単価構成比: 0.00%

標準單價： 784.89

07-实施-一般-5555-当初

表層(直道・路肩部)

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

頁0-0027

SCB410260 施工内訳表

施工 第0-0009号内訳表

機械構成比: 0.43%		労務構成比: 42.30%		材料構成比: 57.27%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 2,852.9	
代表機材規格			構成比	単価(津川①)	代表機材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考
K1t'	振動ロー(舗装用)[ハットガイ式] 運転質量0.5~0.6t	0.24%		円/供用日	振動ロー(舗装用)[ハットガイ式] 運転質量0.5~0.6t				MMJ0804001 MM090804001
K2t'	振動コンパクタ[前進型] 機械質量10~60kg	0.13%		円/供用日	振動コンパクタ[前進型] 機械質量10~60kg				MMJ0807001 MM090807001
R1t'	特殊作業員	18.71%		円/人	特殊作業員				RR0101 RR9101
R2t'	普通作業員	13.40%		円/人	普通作業員				RR0102 RR9102
R3t'	土木一般世話役	4.05%		円/人	土木一般世話役				RR0125 RR9125
Z1t'	⑤密粒度アスコン(新20FH)	52.51%		円/式	アスファルト混合物 密粒度(20) 平均仕上り厚50mm				TZJ4100004 TZP91000030
Z2t'	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	4.54%		円/L	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用				TZJ4130002 TZ094130002
Z3t'	ガソリン レギュラー	0.16%		円/L	ガソリン レギュラー				TZJ6704001 TZ096704001
Z4t'	軽油	0.03%		円/L	軽油				TZJ6702002 TZ096702002
積算単価					積算単価				EP001
平均幅員 1層当平均仕上厚 50mm以下(mm) 材料		=1 =50 =2	1.4m未満(仕上厚50mm以下) 1層当平均仕上厚 50mm以下(mm) ⑤密粒度アスコン(新20FH)						
経費材料種類 費用の内訳		=2 =1	プライムコート PK-3 全ての費用						

07-実施-一般-5555-当初

表層(車道・路肩部)

單價適用日/適用基準日 07年09月20日適用

頁0-0028

SCB410260 施 工 内 訳 表

施工 第0-0009号内訳表

機械構成比：	0.43%	勞務構成比：	42.30%	材料構成比：	57.27%	市場單價構成比：	0.00%	標準單價：	2,852.9
--------	-------	--------	--------	--------	--------	----------	-------	-------	---------

[illegible]

07-实施-一般-5555-当初

AS設備搬(現場～仮置き場)

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

頁0-0029

SCB227010 施工内訳表

施工 第0-0010号内訳表

機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35% 材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 2,817.7 当り

代表機材規格	構成比	単価(洋川①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t'ガンブトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	18.57%	円/供用日	ガンブトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010010 MPM93010010
R1t'運転手(一般)	72.35%	円/人	運転手(一般)		RR0115 RR9115
Z1t'軽油	9.08%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価			積算単価		EP001
殺発生作業 積込工法区分 DID区間の有無	=3 =4 =1	舗装版破碎 機械積込(小規模二工) 無し			
運搬距離(km)(DID区間無) 費用の内訳	=4 =1	2.5km以下 全ての費用			
【補正式】 $P' = P$					
【機械補正】 $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right\}$					
【労務補正】 $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r}$					
【材料補正】 $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
【全体調整】 $\frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$					

AS積込(仮置き場)

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

頁0 0030

SCB210020

施工内訳表

施工 第0-0011号内訳表

機械構成比: 43.43% 労務構成比: 37.88% 材料構成比: 18.69% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 281.5

代表機材規格	構成比	単価(津川①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t' バックホウ(ｸｰﾗｰ型)[標準型] 排出ｶｽ対策型(2014年規制) 山積0.8m3	43.43%	円/供用日	バックホウ(ｸｰﾗｰ型)[標準型] 排出ｶｽ対策型(2014年規制) 山積0.8m3		MMJ0202142 MM090202142
R1t' 運転手(特殊)	37.88%	円/人	運転手(特殊)		RR0114 RR9114
Z1t' 軽油	18.69%	円/L	軽油		IZJ6702002 IZ096702002
積算単価			積算単価		EP001
土質 作業内容	=2 =1	岩塊・玉石 上量50,000m3未満			
【補正式】 $P' = P$					
[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{R1t'} \right] \times \frac{K1r}{R1r} \right\}$					
[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{Z1t'} \right] \times \frac{R1r}{Z1r}$					
[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1r} \right] \times \frac{Z1r}{Z1r}$					
[全体調整] $+ \frac{100 - K1r - R1r - Z1r}{100}$					

AS殻運搬(仮置き場～処分場)

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

頁0-0031

SCB227010 施工内訳表

施工 第0-0012号内訳表

機械構成比: 44.95% 労務構成比: 38.97% 材料構成比: 16.08% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 7,024

代表機材規格	構成比	単価(津川①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t トラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	44.95%	円/供用日	トラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010050 MPM93010050
R1t 運転手(一般)	38.97%	円/人	運転手(一般)		RR0115 RR9115
Z1t 軽油	16.08%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価			積算単価		EP001
殻発生作業 積込工法区分 DID区間の有無	=3 =3 =1	舗装版破碎 機械(騒音対策不要、厚15cm以下) 無し			
運搬距離(km)(DID区間無) 費用の内訳	=7 =1	60.0km以下 全ての費用			
【補正式】 $P' = P$					
【機械補正】 $\times \left\{ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1r} \right] \times \right.$		Kr			
【労務補正】 $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1r} \right] \times$		$K1r$ Rr			
【材料補正】 $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1r} \right] \times$		$R1r$ Zr			
【全体調整】 $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$		$Z1r$			

07-実施一般-5555-当初

SWB010212 施 工 内 訳 表

施工 第0-0013号内訳表

1 人日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備考・雑材料区分・管理費区分	
交通誘導警備員B		人			RR0804	1
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80	0 省略
小計	1	人日				0 省略

07年09月20日適用

頁0-0033

SWB010010 施 工 内 訳 表

施工 第0-0014号内訳表

1 台 当り

[illegible]

07-实施-一般-5555-当初

単価入力データ一覧表②

頁0-0034

[illegible]

【令和7年度 綱木水道施設 舗装本復旧 第15次工事 数量総括表】

○ 県道歩道部 【配水管φ150mm及びφ75mm埋設部分 全副打ち換え】

・ 舗装版掘削積み込み	0.13m3級 B H	A=	370 m2
・ 不陸整正工	w=1.85	A=	370 m2
・ 表層工	⑨密粒度As13F t=5cm	A=	373 m2
・ As塊運搬工	現場～仮置き場	小規模土工	L=2.5km以下
・ As塊仮置き場での積み込み工	0.8 B H		
・ As塊運搬工	仮置き場～処分場	10t D T	L=60km以下
・ As塊処分費			処分場

別途発注予定

○ 県道車道部 【配水管 φ150mm埋設部分 半幅切削オーバーレイ】

・ 切削オーバーレイ	車道 ⑤密粒度As（新20FH）	t=5cm	施工規模4,000m2以下	A =	130 m2
・ 路面切削削殻運搬	10 D T L=60km以下	V =	7 m3		
・ 区画線工	熔融式 t=1.5mm	w=15cm	外側線 実線（白）	L=	44 m
・ 区画線工	熔融式 t=1.5mm	w=15cm	中央線 破線（白）	L=	22 m
・ As塊処分費		処分場	t =	15 t	

○ 県道車道部 【給水管埋設部分 w=1.2m 打ち換え】

・ 舗装版切断	t=15cm以下	L=	18 m		
・ 舗装版破砕工	0.13m3級 B H	A=	11 m2	(仮復旧 + 本復旧部分)	
・ 不陸整正	w=1.8m未満	A=	11 m2	(仮復旧 + 本復旧部分)	
・ 表層工	車道 ⑤密粒度As (新20FH)	t=5cm	w=1.2m	A =	11 m2
・ As塊運搬工	現場～仮置き場	小規模土工	L=2.5km以下	V =	1 m3
・ As塊仮置き場での積み込み工	0.8 B H			V =	1 m3
・ As塊運搬工	仮置き場～処分場	10t D T	L=60km以下	V =	1 m3
・ As塊処分費			処分場	t=	1 t

○ 県道車道部 【配水管 φ100mm埋設部分 半幅切削オーバーレイ】

・ 切削オーバーレイ	車道 ⑤密粒度As（新20FH）	t=5cm	施工規模4,000m2以下	A =	800 m2
・ 路面切削削殻運搬	10 D T L=60km以下		V = 40 m3		
・ 区画線工	熔融式 t=1.5mm	w=15cm	外側線 実線（白）	L=	225 m
・ 区画線工	熔融式 t=1.5mm	w=15cm	中央線 破線（白）	L=	113 m
・ As塊処分費		処分場	t=	94 t	

R7 綱木簡水第1号

綱木水道施設整備事業
綱木水道施設 舗装本復旧 第15次工事
(舗装復旧工)

数 量 計 算 書

阿 賀 町

網木水道施設 舗装本復旧 第15次工事

配水管

土工集計表

本復旧

[illegible]

本復旧

2

本復旧

3

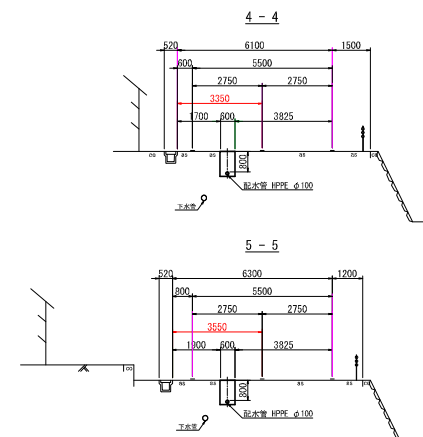


舗装復旧計画図(2)

平面図 S = 1:500

横断面図

S=1:100

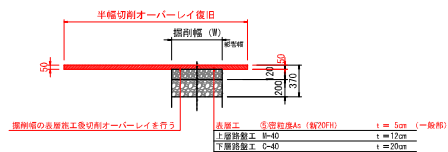


舗装復旧標準断面図

S=1:30

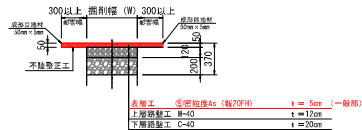
県道アスファルト舗装

(本復旧)
舗装計画交通量
100~250台/日・1方向
道路縦断方向



県道アスファルト舗装

(本復旧)
舗装計画交通量
100~250台/日・1方向
道路横断方向

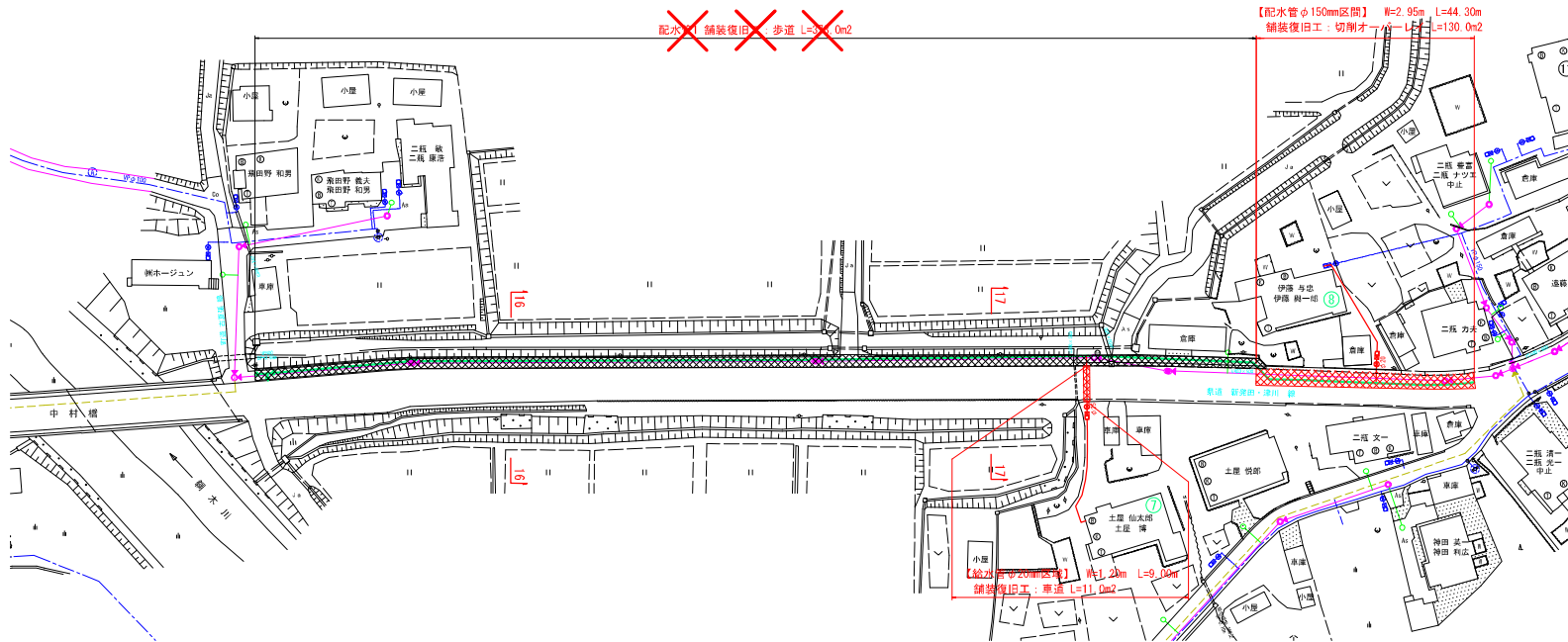


年度	令和7年度	工事番号	
施行地	阿賀町	綱本	地内
工事名	R7 綱本雨水第1号 綱本水道施設整備事業 綱本水道施設 舗装本復旧 第15次工事		
図面名	舗装復旧計画図(2)		
縮尺	図示	図書	2葉の2
製図	R 年月日	設計	R 年月日

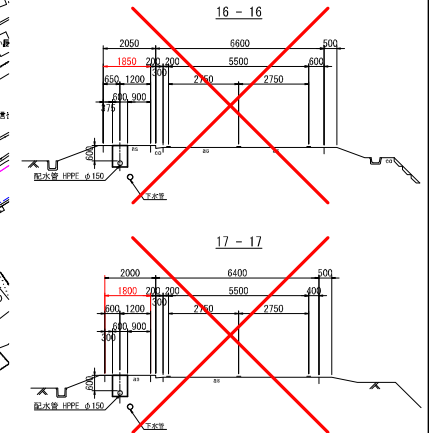
東蒲原郡阿賀町

舗装復旧計画図(1)

平面図 S=1:500



横断面図 S=1:100

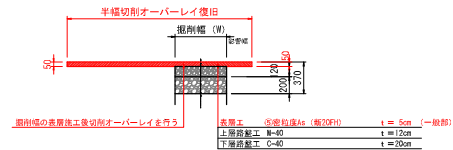


舗装復旧標準断面図

S=1:30

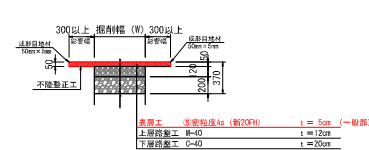
県道アスファルト舗装

(本復旧)
舗装計画交通量
100~250台未満/日・1方向
道路縦断方向



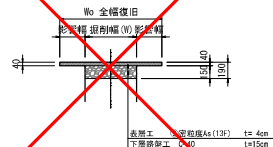
県道アスファルト舗装

(本復旧)
舗装計画交通量
100~250台未満/日・1方向
道路横断方向



県道歩道アスファルト舗装

本復旧



年度	令和7年度	工事番号	
施行地	阿賀町 綱木 地内		
工事名	R7 綱木橋水第1号 綱木水道施設整備事業 綱木水道施設 舗装本復旧 第15次工事		
図面名	舗装復旧計画図(1)		
縮尺	図示	図番	2 葉の 1
製図	R 年月 日	設計	R 年月 日
東蒲原郡阿賀町			